



当社社屋外観（茨城県ひたちなか市）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
大谷 直子

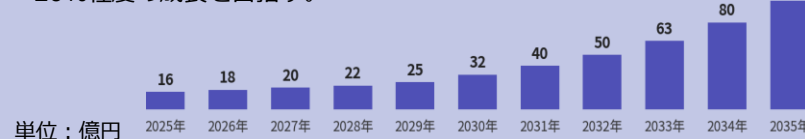
熱制御技術で、半導体・航空宇宙・医療分野の課題解決を支える。

当社は1982年の創業以来、シーズヒーターを中心とする工業用電気ヒーター・加熱機器の専門メーカーとして、設計・開発・製造・販売を一貫して手掛けてまいりました。断熱材を必要としない気体加熱器「クリーンホット」や、過熱水蒸気発生器「アクアスチームヒーター」など、独自の熱制御技術を培ってきました。今後は、半導体製造装置向け製品の需要拡大に対応する新たな生産拠点の整備を起点として、量産技術、品質保証、生産管理体制を強化します。そこで培う技術と生産基盤を活用し、航空宇宙・防衛、医療等の分野にも事業領域を広げていきます。あわせて、技術人材の採用・育成、生産設備への継続的な投資、顧客ニーズを起点とした製品開発を進め、2035年に売上高100億円を目指します。熱制御技術を通じて先端産業の発展を支え、持続的に成長できる企業を築いてまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2025年9月期売上高16億円を起点に、2035年に売上高100億円を達成するため、半導体製造装置向け熱制御製品の量産供給体制を構築し、年平均20%程度の成長を目指す。



課題

- 【課題1】半導体製造装置向け製品の需要拡大に対応する量産体制の構築と、品質の安定化・生産能力の向上
- 【課題2】半導体向けで培う熱制御・品質管理技術を活用した、航空宇宙・防衛、医療等の新たな用途・顧客分野の開拓
- 【課題3】顧客ニーズを営業・開発・生産で共有し、ニーズ把握から設計・試作・評価・量産までを迅速につなぐ部門横断型の開発体制の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

【施策1】第4工場新設による量産拠点整備：半導体製造装置向け製品の需要増加に対応する第4工場を整備し、生産設備・工程配置・検査体制を含めた量産拠点を構築する。

【施策2】品質・生産管理の高度化：AIを活用した作業マニュアル、作業映像の記録・活用、生産管理システムの更新を進め、作業手順の標準化、人材育成の効率化、技能継承、生産進捗の可視化を図る。

【施策3】事業領域の拡大：過熱水蒸気発生器や高温領域の製品・技術を高度化し、既存技術の応用が見込める航空宇宙・防衛、医療等の分野で、新規顧客の開拓と用途開発を進める。

実施体制

【体制1】社長直轄の推進体制：社長直轄で生産・営業・開発・情報管理の各部門を横断的に統括し、設備投資、製品開発、顧客開拓、人材確保の進捗を定期的に確認する。

【体制2】部門横断の開発体制：営業が把握した顧客ニーズを開発・生産部門へ迅速に共有し、設計・試作・評価・量産までを部門横断で進める体制を構築する。

【体制3】人材・外部連携の強化：設計・開発、生産技術、品質管理等の技術人材を計画的に採用・育成するとともに、設備投資や成長資金について金融機関等の外部機関と連携する。

- 本社所在地：茨城県ひたちなか市
- 事業概要：産業用電気ヒーター・熱制御製品の設計・製造・販売
- 常時使用する従業員：71名（2025年9月時点）
- 現在の売上高：16億円（2025年9月期）
- 法人番号：9050001007790
- Web：https://www.shinnetsu.co.jp/